

NHPT・Purdue Pegboard 記録シート v3

A4 1 枚／成人向け／公式手順の要点と院内の比較条件を分けて記録

実施日	評価者	利き手 ☐ 右 ☐ 左 罹患側 ☐ 右 ☐ 左 ☐ なし
疼痛 NRS _____/10	装具・補助具 ☐ なし ☐ あり	評価目的 ☐ 初回 ☐ 再評価 ☐ 復職・作業 ☐ その他：_____

1. 実施条件を先に固定

NHPT 標準手順	利き手から実施／各手で練習 1 回 → 実測 1 回／ボードは正面、容器は評価手側／最初のペグ接触で開始 → 最後のペグが容器に入ったら停止
Purdue 標準手順	右利き：右 → 左 → 両手 → Assembly / 左利き：左 → 右 → 両手 → Assembly。片手・両手は 30 秒、Assembly は 60 秒。各課題の練習後に実測。3 試行は公式マニュアルで強く推奨。
院内で固定	姿勢： ☐ 座位 前腕支持： ☐ なし ☐ あり 装具： ☐ なし ☐ あり 机・椅子条件／休息／疼痛など、再評価でそろえる条件を下欄に記録

2. NHPT（小さいほど良好）

標準値比較は「実測 1」を基本にし、追加反復は院内参考として分けて残す。

手	練習	実測 1 標準記録	追加反復 1 院内参考	追加反復 2 院内参考	備考
利き手 ☐ 右 ☐ 左	☐ 完了	_____ 秒	_____ 秒	_____ 秒	疼痛／落下／代償 _____
非利き手 ☐ 右 ☐ 左	☐ 完了	_____ 秒	_____ 秒	_____ 秒	疼痛／落下／代償 _____

3. Purdue Pegboard（大きいほど良好）

標準値と比較するときは、参照した標準値と同じ「試行数・集計法」を採用する。

パート	試行 1	試行 2	試行 3	採用値	単位／備考
右手 (30 秒)	_____	_____	_____	_____	本／落下メモ
左手 (30 秒)	_____	_____	_____	_____	本／落下メモ
両手 (30 秒)	_____	_____	_____	_____	ペア数
R + L + Both	_____	_____	_____	_____	3 スコアの合計
Assembly (60 秒)	_____	_____	_____	_____	部品点／手順
集計法 ☐ 1 試行 ☐ 3 試行平均 ☐ 参照資料に合わせる ☐ その他：_____					
落下 片手課題では、pin を落としても拾わず次の pin へ。 Assembly 1 完成 = 4 部品点 + 終了時に正しく置かれた途中部品も加点。					
Assembly の左右 右利き：pin 右 → washer 左 → collar 右 → washer 左。左利きは左右を反転。					

4. 観察メモ・生活課題への翻訳

例) 片手で遅い／両手同時性が崩れる／Assembly で手順が不安定／書字・ボタン・スマホ・作業工程への影響

次の一手／再評価 ☐ NHPT 再測 ☐ Purdue 再測 ☐ 他の上肢評価へ ☐ 生活・職務課題を再確認 再評価予定：_____	再評価で固定する院内条件 前腕支持／装具／疼痛／机・椅子／休息など _____
--	---

根拠：Nine Hole Peg Test Instructions (Mathiowetz et al., 1985 に基づく手順／Shirley Ryan AbilityLab)／Lafayette Instrument Model 32020A User's Manual Rev.3
本シートは公式記録用紙ではなく、標準手順の要点と再評価条件を整理するための臨床運用補助シートです。標準値比較は使用する資料・版の手順に合わせてください。rehabilikun blog / v3